

令和5年度事務事業評価シート

令和6年8月16日

事業番号	1447	担当課等	介護課						
事務事業名	長寿健康祝金等贈呈事業								
予算科目コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	2 ともに支え合い笑顔 で暮らせるまちづくり	Ⅱ 共生社会の実現	7 高齢者福祉	(1) 高齢者が生き生き と暮らしていくた めの環境づくり	②文化学習・スポーツ 活動などの推進				
関連する個別計画	第8期介護保険事業計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		○	○					○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
								○	
目的	長年にわたり社会の発展に寄与されてきた方々に敬愛の意を表し、その長寿をお祝いするために、長寿健康祝金を贈呈し、また、ご長寿夫婦に記念品を贈呈する。								
対象	①長寿健康祝金＝100歳、88歳、77歳 ②ご長寿夫婦記念品＝結婚60年、結婚50年								
内容	①「湯河原町長寿健康祝金贈呈条例」に基づき、100歳30,000円、88歳10,000円、77歳5,000円の長寿健康祝金を贈呈する。 贈呈方法として対象者の指定する口座への振込みを行う。 ②ご長寿夫婦（結婚60年・50年）に記念品を贈呈する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	1,159,174		1,133,223		1,190,453
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	1,159,174		1,133,223		1,190,453
	総事業費	5,615,954		5,492,466		5,602,290
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	5,615,954		5,492,466		5,602,290
	財源合計	5,615,954		5,492,466		5,602,290
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
実施事業		事業種別	事業	2	2	2
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
長寿健康祝金贈呈数		事業実績	人	642	573	551
ご長寿夫婦記念品贈呈数		事業実績	組	31	32	25

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	長寿健康祝金は「湯河原町長寿健康祝金贈呈条例」に基づき実施するもので、ご長寿夫婦記念品贈呈とともに、町が町民を代表し実施するもの。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	敬愛の念を伝え、受け取った側からも感謝の言葉を伝えられた。また、77歳、88歳の祝金贈呈方法については振り込みによる効率的な方法により行われた。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	節目となる年に実施することで、町民の高齢者に対する敬愛の念を伝えることができていると考える。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	住民記録により該当者を把握し、広報等により周知を図り実施している。
令和4年度までの自己評価または改善点		敬愛の念を伝え、また、効率的な方法として、令和2年度より対象者の指定する口座への振込みとしている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	令和2年度より77歳、88歳の祝金については、対象者の指定する口座への振込みとしたため、委託等によることも可能であると考えます。
令和5年度の見直し及び改善予定	町の経済効果の活性化にもつながる事業形態への調査・研究を進める。	
令和6年度以降の方向性	身体的理由により、申込書へ記入・郵送することが困難な高齢者もいるため、引き続き、なんらかの形で申請の補佐ができる体制を継続すること。 また、長寿夫婦記念品については、夫婦湯呑の追加発注が難しいため、今後検討すること。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	ご長寿と健康をお祝いし、敬老の意を表す事業となっているため継続しつつ、今後の方向性の検討も必要。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年8月16日

事業番号	1468	担当課等	介護課						
事務事業名	高齢者健康増進事業								
予算科目コード	会計	1	款	3	項	1	目	3	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	2 ともに支え合い笑顔 で暮らせるまちづくり	Ⅱ 共生社会の実現	7 高齢者福祉	(1) 高齢者が生き生き と暮らしていくた めの環境づくり	②文化学習・スポーツ 活動などの推進				
関連する個別計画	第8期介護保険事業計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
			○						
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	高齢者の外出を促進し、ふれあいの機会を増やすことで、心と身体の健康増進を図る。								
対象	65歳以上の住民								
内容	①温泉施設利用事業(月4回/1人)(平成8年度から) ②マッサージ利用事業(四半期ごと1回/1人)(平成21年度から現行事業) ③パークゴルフ場利用事業(月2回/1人)(平成27年度から) ④ヘルシープラザ利用助成(四半期ごと6回/1人)(令和4年10月から)								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		3,555,650		3,824,024		4,033,804	
	人件費	常勤職員	347,752		339,967		357,136	
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	347,752		339,967		357,136	
	総事業費		3,903,402		4,163,991		4,390,940	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源		754,000		800,000		4,033,000	
	一般財源		3,149,402		3,363,991		357,940	
	財源合計		3,903,402		4,163,991		4,390,940	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
事業数			事業種別		事業	3	4	4
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
利用者数			事業実績		人	7844	8516	9766
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	高齢者の心身の健康の増進は、介護予防による介護認定者の軽減につながる。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	効果測定は困難であるが、外出意欲や運動習慣の向上に効果が得られる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	パークゴルフを愛好する高齢者は近年増えており、利用者の増加が期待される。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	利用者の拡大と利用回数の増加を図るため、普及啓発の強化と配布方法について検討を要する。
令和4年度までの自己評価または改善点		平成28年度からは、駅前観光案内所においても利用券の配布を開始、令和4年10月より、新たにヘルシープラザのトレーニング室の利用助成を開始した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	年度を跨いだ対応が必要とされることや、利用要件の確認方法等について考慮すると、委託等の範囲が極めて限定されることとなり、効果について検討を要する。
令和5年度の見直し及び改善予定	事業の周知や利用の促進を図るため、介護保険料納入通知書送付時にパンフレットの同封や介護からのお知らせとしてGGクラブゆがわらにおいて周知を行っている。 温泉施設利用者のマナー低下が問題となっているため、利用券配布時に注意を促すこと。	
令和6年度以降の方向性	利用者の増加が図られるように、新規事業や利用できる施設の拡充の検討。 また、利用していない方への周知方法を検討する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	高齢者の健康増進のための主要な事業となっている。
---------	----------	--------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年8月16日

事業番号	7291	担当課等	介護課							
事務事業名	住宅改修支援事業									
予算科目コード	会計	6	款	3	項	3	目	2	事業開始年度	平成18年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	2 ともに支え合い笑顔 で暮らせるまちづくり	Ⅱ 共生社会の実現	7 高齢者福祉	(2) 地域生活支援体 制の整備	④高齢者世帯に対す る支援				
関連する個別計画	第8期介護保険事業計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
			○						
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
								○	
目的	居宅介護支援を受けていない利用者が、適切なマネジメントの下、円滑に住宅改修 手続きが行えるように支援する。								
対象	居宅介護支援を受けていない要介護認定者								
内容	居宅介護支援を受けていない要介護認定者が住宅改修を行う際に、介護支援事業 所(ケアマネジャー)に依頼して理由書等を作成した場合に、作成費用に対する助 成を行う。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		0		0	
コスト	人件費	常勤職員	0	0	0	0
		会計年度任用職員等	0	0	0	0
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0
	その他特定財源		0	0	0	0
	一般財源		0	0	0	0
	財源合計		0	0	0	0
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
申請件数		機会の提供	件	0	0	2
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
助成件数		事業実績	件	0	0	0
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	介護保険法に位置付けられた地域支援事業(任意事業)
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	4	費用を多く必要としない。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	制度の周知を図っていく必要がある。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	制度の周知を図っていく必要がある。
令和4年度までの自己評価または改善点		住宅改修申請者の全てが居宅介護支援を受けていたため、実施結果は0となっているが、事業を円滑に実施できるように備えておく必要がある。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	助成金による実施が適当であると考えられる。
令和5年度の見直し及び改善予定	事業の周知を図る。	
令和6年度以降の方向性	居宅介護支援を受けている場合がほとんどであるが、受けていない場合も想定されるので、事業の周知を図りながら継続実施する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	事業の周知を図りながら実施する必要がある。
---------	----------	-----------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年8月16日

事業番号	12398	担当課等	介護課							
事務事業名	家族介護継続支援事業									
予算科目コード	会計	6	款	3	項	3	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	2 ともに支え合い笑顔 で暮らせるまちづくり	Ⅱ 共生社会の実現	7 高齢者福祉	(2) 地域生活支援体制の整備	④高齢者世帯に対する支援				
関連する個別計画	第8期介護保険事業計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
			○						
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
								○	
目的	高齢者を在宅で介護する家族に対してリフレッシュや交流する機会を提供し、身体的、精神的負担の軽減を図る。								
対象	要介護3～5の認定を受けている方を在宅で介護する家族、もしくは認知症の高齢者などを在宅で介護する家族								
内容	湯河原温泉でのんびりしていただくことで、心身のリフレッシュと家族介護者同士の交流を行う。宿泊代金を助成する。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		144,000	157,500	104,500			
	人件費	常勤職員	289,752	283,306	298,843			
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	289,752	283,306	298,843			
	総事業費		433,752	440,806	403,343			
財源内訳	国庫支出金		166,994	169,710	155,287			
	県支出金		83,497	84,855	77,643			
	地方債							
	その他特定財源		83,497	84,855	77,643			
	一般財源		99,764	101,386	92,770			
	財源合計		433,752	440,806	403,343			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
開催回数			機会の提供		回	1	1	1
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
参加人数			事業実績		人	4	3	4
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	介護保険法に位置付けられた地域支援事業(任意事業)
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	効果測定は困難であるが、家族介護者の福祉の向上が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	家族介護者の身体的・精神的負担の軽減に寄与している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	対象者は限定されるが、適当な機会が確保されている。
令和4年度までの自己評価または改善点		家族介護者の身体的、精神的負担の軽減を図ることを目的に事業を実施した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	委託による実施は可能であるが、目的を踏まえると町が直接実施することが望ましいと考えられる。
令和5年度の見直し及び改善予定	主任ケアマネジャーを交え町職員、家族介護者との意見交換会を実施、対象世帯へ幅広く周知し、参加をよびかける。	
令和6年度以降の方向性	周知を図りつつ、泊りに参加するには、ハードルが高いとの参加者の意見を踏まえ、日帰りを検討するなど効率的な方法により事業を実施する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	効率的な方法により実施しつつ今後の方向性の検討も必要。
------	----------	-----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------